



# 橋本名誉会長の訃報に接して

左記の訃報が10月15日北大阪法律事務所から届きました。

橋本敦(享年93歳)は8月29日に老衰のため旅立たれましたこと昨日ご家族より報告を受けました。

葬儀は故人の強い希望と新型コロナウイルス感染症非常事態宣言発令下であり、ご家族のみにて執り行われました。

また、ご香典、お供物、ご弔電、ご供花などの儀も故人の遺志によりご辞退されるとのことです。

失礼ながら書中を持ってお知らせ申し上げます。生前中賜りましたご厚誼に心より御礼申し上げます。

## 「逝去を悼んで」

会長 西 晃

橋本敦先生ご逝去の報に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

先生はいつお会いしても、「やあ、西さん！よく頑張ってますね！」と笑顔で励ましていただきました。

議員時代にしみ込んだのでしようね。いつも両手で握手をしていたかどうかですね。

2016年暮れに大阪平和委員会の会長を打診され「どうしたもんか」と迷っていた時、先生より、「平和憲法を守るためには非引き受けて欲しい」と直筆のお手紙と、その後直接のお電話も

いただきました。

「橋本先生からここまで望まれたなら、もう引き受けるしかない」と覚悟を決めました。多くの仲間と共に、2017年秋に「卒寿のお祝い」をさせていただきました。お孫さんたちご家族の皆様にも喜ばれたいにされている先生のお姿が忘れられません。

橋本先生が常に説いておられた憲法理念の実現、平和への熱い想いを微力ながら引き継いで参ります。橋本敦先生、本当にありがとうございました。

理事長 近藤 正

橋本敦名誉会長の逝去を心からお悔やみ申し上げます。

顔をあわせば、「コンちゃん」と声をかけて下さりありがとうございます。忘れないのは、小選挙区比例代表制・政党助成金交付などの「政治改革関連法案」導入の裏話です。「小選挙区制」反対のたたかいは全国に広がりました。国会では、徹夜国会をはじめ橋本先生は議員団の先頭にたつて奮闘。衆議院は可決されましたが、参議院ではついに否決に追い込まれました(1994年)。帰阪途中に新幹線の車中のテロップで「合意なるか」という事態の急変を報じました。土井たか子衆議院議長が衆参両院協議会で、比例代表制を加えて修正する小選挙区法案を成立させようとしていることを知り、急

いで駆け戻り、土井議長に対して「参議院の否決を覆す小選挙区法は断じて許さない。学生時代から親しくしてきたが、これよりは絶交だ」と。今にいたる政治腐敗の温床である「小選挙区制」をめぐる秘話を熱く語りました。先生、安らかに眠りください。

### 橋本敦名誉会長の略歴

- 1928年 大阪市生まれ
- 1947年 京都大学入学
- 1957年 弁護士開業、亀田事務所に所属
- 1974年 参議院選挙大阪地方区初当選
- 2001年 参議院議員団長も務めた24年間の議員引退(「ロッキード疑獄」「リクルート疑獄」など509回に及ぶ国会質問で政府を追及)
- 2003年 大阪平和委員会会長就任



\*右の略歴は「橋本敦先生の卒寿を祝う会」パンフより作成  
\*左の写真は1988年参議院予算委での拉致問題追及の写真

## 元気に沖縄連帯行動

大阪平和委員会、平和遺族会、うたごえ協議会の3団体は、11月15日正午から1時間にわたり近鉄上本町駅前まで沖縄連帯行動を16人の参加で実施しました。

参加者は通行人に「総選挙結果―市民と野党の共闘が健闘。一方で改憲派が3分の2超に」と見出しのついたチラシを配布しました。

平和遺族会の中溝千恵事務局長はマイクを通して「私の父は一歳の私の顔を見ることなく、フリーピンで戦死した。父の遺骨は母と私のもとに帰ってきていない。岸田政権は沖縄南部の戦没者の遺骨が混じる土砂を辺野古米軍新基地の建設に使おうとしている。戦没者の遺族として絶対に許せない。こんな非人道的なことはやめてほしい」と怒りを込めて訴えました。上羽治雄大阪平和委員会事務局長も「岸田政権は『敵基地攻撃能力』の保有や軍事費増など『戦争する国づくり』にまっしぐら。平和も生活も根底から破壊する。こんな政治は変えよう」と訴えました。



この行動では「日米地位協定の抜本的改定を求める請願」署名と「辺野古新基地建設工事中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名がそれぞれ33筆と20筆の計53筆寄せられました。

### 【12月の行事予定】

- 1日(水) 常任理事会 18:00
- 4日(土) 近畿安保オンライン学習会 「名護市長選をたたかうにあたって」10:00~
- 5日(日) 革新懇「金平茂紀氏講演と文化のつどい」13:00 大阪私学会館4F
- 11日(土) 地域活動交流会オンライン 14:00~16:00
- 15日(水) 沖縄連帯行動 12:00 近鉄上本町駅前
- 17日(金) 西淀川学習会・総会 18:00~ 西淀川区民センターホール
- 18日(土) 憲法会議学習会 14:00~ 此花区民ホール
- 22日(水) 能勢もちの搬入・届け
- 27日(月) 正月休み [~1/5(水)]

### 「時代に抗して光を求めた人々」 治安維持法犠牲者名簿・大阪

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟・大阪府本部が編集・発行した上記の本が事務所に届きました。471頁の大著で、自由と人権を求めてファシズムに抗った1600人近い先覚者が紹介され、光彩を放っています。

版元は関西共同印刷所、頒価は4000円



# 好天のもと大和路散策と柿狩り

総選挙から1週間後11月7日(日)、大阪平和委員会主催で奈良県天理市内での柿狩りに出かけました。

当初心配していた雨も降らず、秋晴れのすがすがしい天候に恵まれ、25名(はじめての方12名)が参加しました。

道中、黒塚古墳や遺跡や碑を会員の上羽勢子さんのガイドでまわり、トレイルセンターに立ち寄り、そのあと柿山まで大阪平和委員会の幟をかざしてハイキングをしました。

柿山では渋柿と富有柿の違いや柿のとり方の説明を受け、早速脚立に登り剪定ばさみを使い柿採りに皆さん夢中に：柿採りを満喫したところで待望のお弁当を開き、みんなでいただきました。おいしい空気と眼下のすばらしい景色を堪能しながら柿の实の下でいただくお弁当は最高でした。

一休みして、みんなで自己紹介した後、平和大会クイズ、飛び入り参加の天王寺の橋本・吉田



コンビによる南京玉すだれで盛り上がりました。そしてこれからの日本平和大会の成功などの課題にむけみんなで頑張ろうと気持ち一つになって楽しい時を過ごすことができました。初めて参加した方からは柿狩りは人生で初体験、最高ですと感想が寄せられました。

## 天王寺がパンフ学習

10月31日衆院選挙が行われ、改憲勢力が3分の2を占める残念な結果になりました。岸田首相が選挙中に「選択肢のひとつ」とくりかえした「敵基地攻撃」能力の保有など新たな「安全保障戦略」とのたたかいを強め、日本を戦争に巻き込む道を遮断しなければなりません。天王寺平和委員会の出番です。

こうしたことを受けて11月13日、天王寺平和委員会で平和大会パンフを資料に学習会をひらき、14名の参加で話し合いました。

最初に11節からなるパンフの学習。4人がパンフを3節ごとに分けそれぞれ報告。世話人代表の大江さんからは1「いのち

くらしながいしろに軍拡まっしぐら」2「日米首脳会談で決めたことは」3「台湾有事、破滅的な戦争の道」の報告。岡原さんからは4「戦争法・『敵基地攻撃』」の危険」5「米軍と自衛隊が一つに」危険な訓練」6「世界一の米軍基地国家」の報告。郷原さんからは7「地位協定」8「首都圏の空も米軍が支配」9「市民と野党の共闘でチェンジ」の報告。吉田さんからは10「日米安保条約はどうする？」11「草の根からの行動と共同ひろげよう」の報告。

この後、上羽治雄大阪平和委員会事務局長から安倍・菅・岸田政権の「土地利用規制法」など戦争する国づくりの狙いと危険性について報告がありました。

休憩後、長井さんと岡原さんのオカリナ演奏でいやされた後で全員が感想や決意をだしました。最後に「絶対に戦争だけはさせない」強い決意をもって日々の草の根の行動と共同をひろげよう、平和委員会の出番、がんばりましょうと申し合わせました。



## 都島と堺が総会開催

都島平和の会が、10月30日午前中区民センターで総会を29人の参加で開催しました。

上野とき子会長による挨拶の後、上羽大阪平和委員会事務局長が次のように連帯の挨拶。

「都島は20ある大阪の地域組織の中で会員数が5番目の組織で、小さな県組織に相当するところまで成長してきた。それは、上野会長をはじめとする役員の方々が団結して様々な魅力のある活動を行い、それを月刊ニュースで会員の皆さんに知らせる活動をしてきたからだ」と。ついで藤永のぶよ事務局長が5頁にわたる総会議案書をもとに、情勢とともに、終戦のとき都島工業



田中邦夫副会長、山口須磨子会計、8名の委員、藤永のぶよ事務局長など計15名の2021年度役員が選出されました。

この総会では「新しい憲法のはなし」を参加者に配ってくれた元教員が会員になってくれました。

11月14日(日)堺平和委員会は総会と映画「沖繩」上映会を堺教育文化センターで開催しました。昨年の「沖繩」1部上映会では「2部の上映会も是非やって」の声が多く、「沖繩」全編上映しました。各地で後援会の企画などがあつたり、事前の宣伝もコロナの様子見で、十分にできず、少し寂しい上映会になりましたが、「1月の名護市長選に向けて、来秋の沖繩知事選挙に向けて頑張っていきましょう！」との決意の場にもなりました。コロナ禍で宣伝以外の取り組みの出来なかつた1年でしたが、例えなどの活動、諸団体と連帯しての行動、9の日宣伝も積極的に進め、堺で平和運動の輪を広げて行くこと、若い世代への働きかけや女性会員の拡大を強めることを確認しました。

【亀井明子副理事長リポート】

